

令和元年度延永小学校 教育活動自己評価結果

【学校の教育目標】

豊かな心を育み、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

【本年度経営の重点】

- 1 特別支援教育の充実:ユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動・教育環境の充実
- 2 確かな学力の向上:教育課程の質と量の向上、授業改善による基礎学力の定着、思考力・判断力・表現力の育成、学力向上プランの確実な実施
- 3 豊かな人間性の育成:人権教育・道徳教育の充実、積極的な生徒指導の推進、「コミュニケーション科・郷土科」の推進、鍛ほめ福岡メソッドの活用、体力向上プランの確実な実施
- 4 教員の資質向上:校内研修と基本研修の計画的な実施、OJTによる若手教員の育成
- 5 信頼される学校づくり:教育課程の質と量の向上、教育活動の「見える化」の促進、学校評価を生かした改善

自己評価について

- 4段階で評価する。
- 評価基準は、以下のとおりとする。
 - 4:しっかりできている。よくあてはまる。
 - 3:だいたいできている。概ねあてはまる。
 - 2:あまりできていない。あまりあてはまらない。
 - 1:できていない。すぐに改善が必要である。

項目	評価		番号	具体的な姿及び手立て	小項目評価		学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた今後の取り組みの重点
	9月	2月			9月	2月		
目指す児童像	1 思いやりの心を持ち、素直で明るい子ども	2.9	3.0	① 子どもは、人を大切にする言葉遣いをしていますか。	2.7	2.9	「人を大切にする言葉遣い」に関して、「規範意識」の育成が欠かせない。	「規範意識」とともに、「自尊感情」を育成していくことが課題である。道徳の時間の指導を中心に日常的に友達のよさを見つけ、子ども達の自尊感情を高める取組をすすめること。
				結果 人を大切にする言葉遣いの定着を図っていく必要がある。				
				② 子どもは、友達のよさを見つけていますか。	3.2	3.1		
				結果 昨年度と比べ、友達のよさを見つけることのできる子どもが増えてきている。				
				③ 子どもは、人のいやがることをしないように気をつけて行動していますか。	2.8	3.0		
				結果 ほとんどの子どもは人のいやがることをしないように気をつけているが、個別に指導の必要な子どももいる。				
	2 主体的・意欲的に学び、進んで体を鍛える子ども	2.6	2.9	④ 子どもは、「読み・書き・計算」を確実に身につけていますか。	2.4	3.0	基礎学力の定着や家庭学習・自主学習の取組の徹底を図り、子ども達に確かな学力をつけてもらいたい。	話を正確に聞いたり、自分で書いたり、考えたことをはっきりと話すことができるようにすること。そのために、授業内容に関連した内容を振り返りとして書く活動や、聞いたことを復唱させたり書いたりする活動を授業の中に取り入れる。また、子どもが考えをもつことができる発問や授業についての校内研修会を実施すること。
				結果 学校全体での基礎学力定着の取組の成果が表れてきている。				
				⑤ 子どもは、授業中自分の考えをもつことができますか。	2.6	3.0		
				結果 自分の考えを十分もつことができたとはいえないが、前向きに取り組む子どもが増えてきている。				
				⑥ 子どもは、進んで家庭学習や自主学習に取り組んでいますか。	2.8	2.9		
				結果 徐々にではあるが定着してきている。				
3 家庭や地域に愛される子ども	2.7	2.7	⑦ 子どもは、意識して体力を高めようとしていますか。	2.7	2.8	学校に行くと子ども達は元気に挨拶してくれる。挨拶は社会生活では基本です。地域の中においても人に元気な挨拶ができるようになると素晴らしい。「早寝」は学校の責任でなく家庭生活にこそ根本原因があるにしても学校として最大限の努力を期待する。	コミュニケーション科等を通して、人を大切にする言葉づかいを指導すること。「早寝」をはじめとする基本的な生活習慣の形成に関しては、さらに啓発を行い家庭と連携して取組をすすめること。	
			結果 運動が好きな子どもは多いが、意識的に体力を高めようとする児童は少ない。					
			⑧ 子どもは、時と場に応じたあいさつや返事をしていますか。	3.0	2.9			
			結果 時と場に応じたあいさつや返事のできている子どもがほとんどだが、個別に指導の必要な子どももいる。					
			⑨ 子どもは、正しい言葉遣いができていますか。	2.8	2.9			
			結果 正しい言葉遣いが定着したとはいえない。					
	2.7	2.7	⑩ 子どもは、ルールを守って生活をしていますか。	3.0	3.0			
			結果 ルールを守って生活をする子どもが増えてきている。					
			⑪ 子どもは、「早寝・早起き・朝ご飯」「ノーテレビ・ノーゲームデー」の生活習慣が身についていますか。	2.3	2.4			
			結果 昨年度と比較しても全体的に早寝の習慣が身につけていない。					
			⑫ 子どもは、地域の行事等に積極的に参加していますか。	2.3	2.3			
			結果 十分とはいえない。					

目標達成への手立て	1 教育活動の充実	3.0	3.3	⑬	あなたは、「シンプル」「クリア」「ビジュアル」「シェア」による支援を図っていますか。	3.0	3.2	生徒指導における未然防止・早期対応は素晴らしい。 学力学習状況調査等の結果を分析して日常的な努力が成果として実るよう期待する。	今後も生徒指導における未然防止・早期対応に努めること。 学力テスト等の結果を分析し各学級の実態に応じたきめ細かな指導をすると共に、細かなサイクルでの検証と各取り組みの質の向上を図ること。 発達段階に応じて家庭学習習慣のための取組を充実させること。 中学校区としての取組をさらに充実させること。
				結果	意図的・計画的な指導が行われている。				
				⑭	あなたは、特別支援教育の視点に立った「わかる・楽しい」授業づくりに努めていますか。	3.1	3.3		
				結果	ねらいに即した授業づくりを展開している。				
				⑮	あなたは、「のぶのびタイム」を通して、学力向上を図っていますか。	3.0	3.3		
				結果	学校全体の取組として定着している。				
				⑯	あなたは、「のぶよみタイム」を通して、読書活動の充実に努めていますか。	3.3	3.4		
				結果	学校全体の取組として定着している。				
				⑰	あなたは、「延永小の学習規律」「学校のきまり」を徹底していますか。	3.3	3.5		
				結果	学校全体で統一した指導を展開している。				
				⑱	あなたは、道徳的価値の内面化を図る道徳教育に努めていますか。	3.0	3.2		
				結果	昨年度より意識が高まってきている。成果の検証を短いサイクルでする必要がある。				
				⑲	あなたは、人権尊重の精神を全教育活動を通して身に付けさせていますか。	3.0	3.5		
				結果	全校一斉で取り組み、学校全体の意識も高まってきている。				
	⑳	あなたは、生徒指導において未然防止・早期対応を心がけていますか。	3.6	3.4					
	結果	教員の意識は高く、未然防止・早期対応ができた。							
	㉑	あなたは、家庭と連携した家庭学習の充実に努めていますか。	2.7	3.2					
	結果	昨年度より充実してきている。							
	㉒	あなたは、中学校区での授業参観を通して、課題を共有し、授業づくりに生かしていますか。	2.3	2.6					
	結果	徐々にではあるが、教員の意識が高まってきている。							
	2 組織運営の充実	3.2	3.2	㉓	あなたは、校務分掌への取組を適切に行っていますか	3.1	3.0	「報告・連絡・相談」の徹底が図られていることは素晴らしい。 組織(チーム)として子どもの将来を見据えた学校運営を続けてほしい。	学校全体でのビジョンの共有を今以上に大切にすること。そして、いつまでに、何を、誰が、どのようにするかを綿密な計画をたて、チームで子ども達の指導をしたり、職務を遂行したりすること。
				結果	責任をもって校務分掌に位置づけられた取組を行うことができた。				
				㉔	あなたは、報告・連絡・相談を適切に行っていますか。	3.6	3.6		
				結果	報告・連絡・相談の徹底を図ることができた。				
	㉕	あなたは、チームによる協働に貢献していますか。	3.0	3.1					
	結果	教員一人一人に組織の一員であるという自覚が高まってきているが、その意味づけ・価値付けをさらに充実させることが必要である。							
	3 教育環境の充実	3.1	3.3	㉖	あなたは、特別支援教育の視点を取り入れた環境づくりに努めていますか。	3.2	3.2	定期的にも日常的にも施設・設備の安全点検が行われており、それをもとに速やかに修理・撤去されている。今後も事故防止に努めていただきたい。	学校事故等の未然防止に向け、施設整備の点検・修理等のさらなる徹底を図ること。 学校図書館を活用した読書活動の推進及び図書館教育の充実を図ること。
				結果	教員の意識が高く、学校全体で統一した環境づくりができた。				
				㉗	あなたは、定期的及び日常的に安全点検を行っていますか。	3.6	3.6		
				結果	十分な取組ができた。				
				㉘	あなたは、各種通信を通して、学習活動等の情報の発信をしていますか。	3.0	3.1		
				結果	学級通信については、学級により差が大きい。				
				㉙	あなたは、児童の健全な教養を育成するために学校図書館を適切に活用していますか。	2.9	3.0		
	結果	発達段階に応じた目的のもと活用している。高学年になると読書のみの活用は少なくなる。							
	㉚	あなたは、情報活用能力等の育成のためにICT環境を適切に活用していますか。	2.8	3.1					
	結果	おおむね達成できた。							
	4 人材育成の充実	2.7	2.9	㉛	あなたは、初任者研修や経年研修に積極的にかかわるとともに、自らの指導力向上に努めていますか。	3.0	3.0	若年教員が増加する中、OJTを通して人材育成に努めてほしい。また、幅広い研修の成果を学校教育活動に反映させてほしい。	さらに校内、校外研修を通して指導力を向上させること。また、校外研修で学んだことを還元させ、学校全体に成果を広げようとする。キャリアステージに応じた研修を充実させること。
				結果	主題研修、OJT研修等を通して、授業力の向上が図られた。特にベテランから若手への日常的指導が少しずつ成果として表れている。				
				㉜	あなたは、校外研修後、その成果等を校内で報告していますか。	2.2	2.6		
				結果	各種研修会への参加後の報告は少しずつできるようになったが、さらに研修の成果を全体へ広げる必要がある。				
㉝	あなたは、学校教育目標を学級経営や日々の指導に反映させていますか。	2.9	3.0						
結果	反映をさせようとする意識は高まってきているが、成果としては表れつつある。								